

彫刻「早春」について

この度、本校に新しい美術品が移設されました。



題名：「早春」

作者：西村忠氏（山形市出身 鑄金工芸家）

【移設の経緯について】

- ◆作者の西村氏は、県ゆかりの芸術家として著名な方です。主な作品として、霞城公園内の最上義光像があります。また、本校校舎正面の校章レリーフも作っていただきました。
- ◆「早春」は最初、昭和37年に明治製菓（株）、明治乳業（株）より旧県民会館に寄贈されました。旧県民会館の2階ロビーの壁に展示してあったものです。やまぎん県民ホールが造られたことに伴い、山形県は旧県民会館にあった美術品の移設先について検討しました。その結果、本校に「早春」の移設が決まりました。
- ◆生徒への披露は11月1日（月）でした。朝のHRにて、移設検討の経過についての説明とともに、山形の貴重な宝を大切にするように話をしたところです。来校の折には、是非ご鑑賞ください。

